



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT

KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11

神戸 YMCA 国際・奉仕センター

Tel 078-241-7204

Fax 078-241-3619

E-Mail: houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第4水曜日 6:30-8:30P.M.

第2例会 第1木曜日 7:00-8:30P.M.

第392号

2020年8月

会長(C P)山田滋己「苦難の時こそ、我がクラブから明るい光を！」 “Let's emit bright light from our club at the time of hardship!”

国際会長(IP) Jacob Kristensen(Denmark)“TRUST IN THE RIVER OF LIFE”(命の川を信じよう)(Values, Leadership and Extension)

アジア太平洋地域会長(AP)David Lua(Singapore)“Make a difference”(変化をもたらそう)“INSPIRE”(奮い立たせよう)

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウバー) “Let's do it now!” “2022に向け埃を持って All is well.”

六甲部部長(DG)安行英文(さんだ)「行動に信念を、信念は行動に」:Believe in what you do. Do what you believe in.

8月強調月間 Youth Activity

若者が大きく成長する夏。ユースの活動をバックアップして忘れられない夏を作ろう。

益国 隆人 YMCA サービス・ユース事業主任 (広島クラブ)

<8月第1例会>

8月は、「Youth Activity」の強調月間です。
戦後75年間のことを考え、皆さんで平和を祈り、心豊かなこれからの世界を願い、若手の皆さんへ、この願いを託して行くことを思う月にしたいと思います。

<記>

日時: 8月26日(水) 18:30~20:30

場所: 神戸YMCA 三宮会館2階チャペル

併用: ZOOM 会議室

担当: 井上真二 Yサ・ユース委員長

開会点鐘: 山田滋己会長

聖句・祈祷

卓話: 「神戸真生塾の歴史、使命や課題、コロナ禍での現状等」

上杉徹氏(神戸真生塾施設長)

諸連絡、今月のお誕生日、ニコニコ、今月の歌

閉会点鐘: 山田会長

<2020-2021年度のファンド・累計>

	7月	累計
ニコニコ	1,000円	1,000円
じゃがいも		
新玉ねぎファンド		
(じゃがいも、玉ねぎ、その他)		

<7月出席状況>

出席率: 80%(出席数)12/15(出席率対象会員数)

充足率: 125%(メン12, ゲスト5名, ビジター8名)

<今後の予定>

<8月第1例会>

8月26日(水) 神戸YMCA308教室

卓話「神戸真生塾の歴史、使命や課題、コロナ禍での現状等」

上杉徹氏(神戸真生塾施設長)

<9月第2例会>

9月3日(木) 神戸YMCA308教室

<9月第1例会>

9月23日(水) 神戸YMCA308教室

「時事の見方(仮題)スピーカー: 藤田昭彦氏

(元毎日新聞記者)」

<8月のお誕生者>

2日: 廣瀬頼子ワイズ

HAPPY BIRTHDAY!

<2020年8月の聖句>

<キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。それで、このキリストによって両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。>

エフェソの信徒への手紙 2:17-18

この手紙は、イエスによって一つにされた神の家族としての教会というのが中心のテーマです。現在ソーシャルディスタンシング(社会的距離の保持)という言葉で人と人との間が仕切られ一つになることを妨げようとしています。仕方がないけど、淋しいなあと思っている時、ドイツのメルケル首相の言葉がさわやかに聞こえてきました。「今は距離だけが思いやりの表現なのです。」身体の距離は離れても、心の距離はかえって近くなっているのかもしれない。

丹羽和子

2020-2021年度クラブ役員

【会長】山田滋己【副会長】宮内伸浩【直前会長】水野雄二【書記】宮内伸浩【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子【監事】鈴木誠也【担当主事】松田道子

7月はワイズメンズクラブの新年度、Kick-offの月でした。6月まで中止(もしくはWebで代替)していた集合形式の第1例会を、新型コロナ感染拡大防止策をとりつつ再開する事ができ、ゲスト、ビジターもご参加下さる機会となりました。改めて感謝申し上げます。しかしながら専門家の方々も含め、正解が分からない中での模索が続きます。

一方で、日常の中に、また自然の脅威が、昨年、一昨年に続いて発生してしまいました。

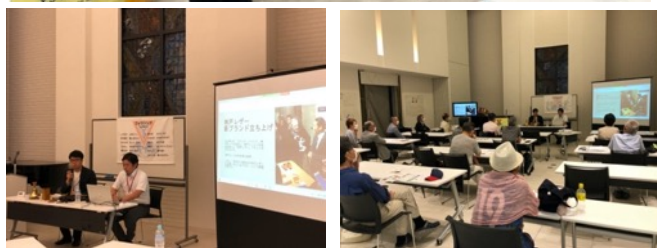
学生時代、無動力のカッターボートで瀬戸内海を巡航した時(雨天時は、専用のビニール屋根を張る状態)、そして、阪神淡路大震災の被災経験等から、決して立派な宿でなくても、屋根のある、浸水していない場所で寝泊り出来るという、ごく平凡な暮らしがどれだけ幸せなのか、十分に感じてきました。ですの、一昨年の広島、岡山等、昨年の千葉、長野等、今年の熊本、山形等、被災地の方々のことを思うと、僅かながらではあるけれど、「直ぐにでも復旧のお手伝いに行きたい」と、気持ちがはやりまします。しかし、新型コロナに阻まれてしまいます。

このような中、8月は終戦から75年になります。ワイズの諸先輩方からも、戦争を仕掛けるべきではない、他の方法での解決策を見出すべき、と教わってきました。新型コロナの影響で、追悼式典は中止や縮小を余儀なくされていますが、平和を思うことはできる、静かに祈ることは出来る、「はなれていても、つながっている」ことをワイズメンとして認識しつつ、この夏を過ごしたいと思います。

8月は、「Youth Activity」の強調月間です。75年間のことを考え、皆さんで平和を祈り、心豊かなこれからの世界を願い、若手の皆さんへ、この願いを託して行くことを思う月にしたいと思います。

7月第1例会

<7月第1例会報告>



コロナ禍の中、3月例会以来の対面式の例会が再開しました。7月22日(水)、新年度のキックオフ例会は、安行六甲部長を迎え、水野直前会長から山田新会長へのバッチ交換の会長交代式が行われ、無事新年度がスタートしました。ZOOMでの参加者も含めて、メンバー12名、ゲスト・ビジター13名の参加で、広い神戸YMCAチャペルでソーシャルディスタンスを計りながらの例会となりました。ゲストスピーカーは神戸レザーの振興を図っておられる片山喜市郎さんと事務局担当の神戸新聞社の豊田周平さんで、神戸の明日を担う若いビジネスマンによる神戸の未来を切り開く試みのお話でした。神戸ビーフは有名ですが、牛肉が消費されれば、牛皮

も残るわけで、それを有効に、また付加価値のある商品として開発しようとする取り組みのお話を伺いました。まだまだ採算ベースには合わないようですが、未来のあるお話を興味深く伺いました。片山さんは最近人気のある神戸タータンも推進されている一人であり、このような新しい神戸ブランドの誕生は神戸の未来を感じさせるものでした。ZOOMで参加くださった方々には少し聞き取りにくい音声であったようで、申し訳ありませんでしたが、次回リベンジいたしますので、またご参加ください。(水野記)

<メンバー近況>

「2年目の近況」 東 恭子

出産後、生活が一変してもう直ぐ2年が経とうとしています。親になって手探りの毎日も、やっと2年、もう2年を迎えるわけです。もちろん、慣れることはありません！が、言葉が増えたり、できることが増えてきた息子と一緒に楽しんだりできるようになりました。



息子はハイハイの時期が長く、少し前までは、その辺の道端でも平気でハイハイしていました。

彼の目にする世界は大きく広く新鮮で、そして狭い。

ある日、自分の手の先を通り過ぎる小さな虫を見ながら、「速いね」と覚えてたの言葉で私に言いました。どんどん小さな虫に追い抜かれていく彼。そうか、こんな小さな虫にも追い越されてしまう彼の世界なんだなあ、と彼の世界を想像して楽しい気持ちになりました。彼の世界がどんな風に見えるのか、と私も発見が多いです。

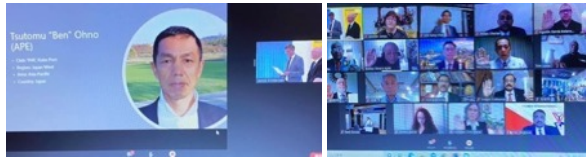
私もまた、新しい世界を知っていくように、息子と一緒に世界を学び直している日々です。

困難に直面している現在ですが、息子たちの世代に、より良い社会をつないでいける大人でありたいと思います。

7月活動報告

1. 国際議員就任式

日時：7月4日(土)ZOOMにて



大野ベン、いつの写真でしよう？真面目に手を挙げ、宣誓しています。2年間、がんばってください。

2. 宝塚クラブキックオフ例会

日時：7月8日(水)19:00～20:30

会場：宝塚西公民館

出席：水野雄二、大野智恵、大野勉



新入会式がありました。EMC 事業主査は、水野ワイズ。



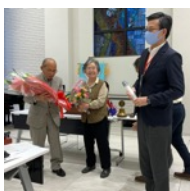
宝塚クラブ花組は、ますますお元気です！

3. 神戸クラブキックオフ例会

日時：7月14日(火)18:30～19:30

会場：神戸 YMCA 三宮会館2階チャペル

出席：井上真二、大野智恵、大野勉



戸所直前理事より2019-2020年度奈良良傳賞が、直接渡されました。井上神戸YMCA 総主事からは、お祝いのスピーチがありました。大塚ワイズ、誠にありがとうございました。

4. 芦屋クラブキックオフ例会

日時：7月15日(水) 19:00～21:00

会場：ホテル竹園 (JR 芦屋駅前)

出席：大野智恵、大野勉



六甲部部長引継ぎ式



芦屋クラブ会長引継ぎ式

芦屋クラブは、若い会長の誕生です。楽しみです。

8月第2例会記録(抜粋)

0. 日時：8月6日(木)19:00～20:20

場所：各自自宅他 (ZOOM 会議室)

出席：井上、大野勉、大野智、中山、細見、松田、水野、宮内、山田

<以下、内容>

1. 7月第1例会

・日時:2020/ 7/22 日(水)18:30-20:00

・場所:①神戸 YMCA チャペル、② 各自自宅他(Web)

・出席者:

メンバー：①井上、大野勉、大野智、小田、郡、丹羽、細見、

松田、水野、山田 10名 ②井内、宮内 2名

ゲスト：①片山喜市郎氏、豊田周平氏、小栗 献氏、

伊賀元俊氏 4名②小合瀬雅之氏 1名

ビジター①六甲部役員(さんだ)安行英文部長、

松本美耶子書記、竹内一夫会計 3名②原伸行ワイズ

(神戸)、中道京子メネット(神戸)、多胡葉子ワイズ (宝塚)、

若林成幸ワイズ (宝塚)、清水弘一ワイズ (仙台広域) 5名

・出席率=80%、・充足率=125%

※ EMC 事業主任に確認した結果、出席率、充足率共に

①、②両方をカウント

・内容:会長交代式、六甲部部長挨拶、新会長挨拶&方針・説明、卓話「自分たちで考え、作り出す神戸の未来ー神戸レザー協同組合の取り組みー」

2. 7月度活動報告 (後に掲載)

・第2例会:7/2(木)開催無し(6月第2例会直後のため)

3. 8～10月のクラブ例会

・8月第1例会 :2020/ 8/26 日(水)18:30-20:30

場所①神戸 YMCA チャペル、② 各自自宅他(Web)

感染拡大予防を徹底しお弁当とお茶。納涼の楽しみは、終了後有志で。

卓話「神戸真生塾の歴史、使命や課題、コロナ禍での現状等」

スピーカー: 上杉徹様 (社会福祉法人 神戸真生塾、児童養護施設 神戸真生塾施設長)

例年開催の納涼大会でのご奉仕(たこ焼き他)が中止となりましたので、当クラブ例会で卓話を頂くと共に、別の方法での支援を模索できればと思います。

・9月第2例会: 9/ 3(木) 19:00-20:30、於神戸 YMCA
・9月第1例会: 9/23(水)18:30-20:30、於神戸 YMCA
卓話「時事の見方? スピーカー:藤田昭彦氏(元毎日新聞記者)」。「9月」をキーワードに、9.11 や米国大統領選挙の行方等についてのお話をお願いしてみる。

・10月第2例会:10/ 1(木) 19:00-20:30、於神戸 YMCA
・10月第1例会:10/28(水)18:30-20:30、於神戸 YMCA
内容未定。(中山プログラム委員が候補者推薦)。
10月第2例会までに決定。

4. 今後の予定、他クラブ例会等

・神戸 YMCA 秋まつり (10月) :中止
・神戸 YMCA インターナショナルチャリティーラン:
開催は難しく中止あるは別の形。模擬店は出店無し。
詳細は後日。「明日香の柿ファンド」は方法を別途検討

5. 協議課題

・12月第1例会 オリンピッククリスマス。高齢者施設
なので要検討。郡ワイズに確認頂く。
・4月第1例会 チャリティーコンサートが5/1(土)に
なったので別途検討。
・2020/ 7/31 提出 西日本区からのアンケートの件
会長提案通り承認。
・2019-2020 年度決算報告、2020-2021 年度予算承認
の件 (丹羽): 次回例会で審議。
・2019-2020 年度中止となったチャリティーコンサート
会場予約の都合上、2021 年5月1日(土)に日程変更。
演奏者の方々へもお伝えし了承済み。会場は神戸聖愛
教会(了承済み)。合唱は飛沫ゆえ判断はどこかの時点
で。ライブができなくても動画配信も含めて検討。
・今期会長方針「チャーターから32年間蓄積したクラ
ブの資産を整理、共有し、これからのクラブ活動へ」
東京むかでクラブ方式を採用するか等、神戸ポートク
ラブの最適形式を探りながら、古参メンバー中心に、
9月までにプラン、11月までに作成ぐらいの日程で
進める。
・臨時代議員会公告について(山田)
理事指名委員会、連絡主事を担当主事に変更の2件
2回目代議員会議事、議事承認で返答。

<ベルマークを集めてYMCAを支援しよう!>

4年前に神戸ポートクラブで始めたベルマーク活動は、その後六甲部の地域奉仕活動として取り組み、4年間で約10万点(10万円)をベルマーク財団に被災地支援としてお贈りすることができました。

この活動には、六甲部の皆さんをはじめ、西日本区のいろいろなクラブにもご協力いただきました。ありがたいことでした。集められたたくさんのベルマーク(インクカートリッジを含む)は、神戸ポートクラブの支援先であるWAPの研修生によってきちんと整理・集計され、毎年度の終わりに1年分をまとめて財団に郵送し、財団のホームページに寄贈者として「ワイズメ

ンズクラブ国際協会西日本区六甲部」を明記していただきました。

4年かけてやっと10万点(10万円)、されどそこにはたくさんの方の思いが込められていると感じます。ちょっと気をつけなければならないこと、小さなことも集まれば大きな力になります。

今年度は、六甲部メネット事業でベルマーク活動に取り組んでいただけたとことです。ベルマークを集めることで新型コロナウイルスにより大きな影響を受けたYMCA(教育部門)をサポートすることもできますので、今まで以上にご協力いただきますようお願いいたします。(大野智恵)



神戸YMCA マンスリーレポートから

- 7月は梅雨の長雨が続く中、幾度か警報も発令され、その度に神戸YMCAの幼少年プログラムが休講、神戸YMCA 専門学校や神戸YMCA 高等学院も休校となりました。豪雨は国内外で大きな災害をもたらしました。熊本YMCA 学院生、職員の方々は熊本県球磨郡玉磨村での被災地支援活動を始められています。私たちは今も困難な生活を強いられている方々など、関係されるすべての方々のために祈ります。
- 「ワークショップ難民2020 Vol.18」を、今年はオンラインで開催いたしました。オンラインということもあり、関東在住の方など普段は参加していただくことが難しい地域からのお申し込みもあり、新しいネットワークも生まれ、可能性の広がりを感じました。新型コロナウイルス感染防止からの変化でしたが、新しい取り組みにいくつも挑戦できたワークショップとなりました。
- 今年の神戸YMCA 総会は、書面による実施となります。総会構成員の皆様のご自宅に総会資料をお送りいたします。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

神戸YMCA 本部事務局: 078-241-7201

編集後記

山の日 海に向こうの 空蒼し 弁子

職場から離れ、公共交通機関を利用しないと、マスクはほぼ不要になります。Covid-19の影響が出始めた頃から、山の空気をたくさん吸いに出かけています。

山は「元気=気を元に戻すところ」です。海は、少し人出が多くて遠慮しています。自分にとって心の安らぐ、健康にいい場所がきっと近くにあるのではないのでしょうか。元気な皆さんとお会いできる日が早く来ますように!

